

1 $f(x) = (x+1)^{\frac{1}{x+1}}$ ($x \geq 0$)

(1) $\log f(x) = \log (x+1)^{\frac{1}{x+1}}$
 $= \frac{1}{x+1} \log(x+1), \dots \textcircled{1}$

両辺を x について微分すると,

$$\frac{f'(x)}{f(x)} = \frac{-1}{(x+1)^2} \log(x+1) + \frac{1}{x+1} \cdot \frac{1}{x+1}$$

$$= \frac{1 - \log(x+1)}{(x+1)^2}$$

よって,

$$f'(x) = (x+1)^{\frac{1}{x+1}} \cdot \frac{1 - \log(x+1)}{(x+1)^2} \dots \textcircled{2}$$

$f(x)$ の増減を調べると次表のようになる.

x	0	...	$e-1$...
$f'(x)$		+	0	-
$f(x)$		↗		↘

したがって, $f(x)$ の最大値は,
 $f(e-1) = e^{\frac{1}{e}}, \dots$ (答)

(2) ①より

$$\lim_{x \rightarrow \infty} \log f(x) = \lim_{x \rightarrow \infty} \frac{\log(x+1)}{x+1}$$

$$= 0 \text{ (問題文より)}$$

であるから, 指数関数の連続性より

$$\lim_{x \rightarrow \infty} f(x) = \lim_{x \rightarrow \infty} e^{\log f(x)} = 1, \dots \textcircled{3}$$

... (答)

また, ②より

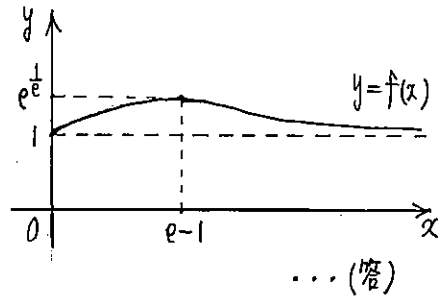
$$\lim_{x \rightarrow \infty} f'(x) = \lim_{x \rightarrow \infty} f(x) \left\{ \frac{1}{(x+1)^2} - \frac{\log(x+1)}{x+1} \cdot \frac{1}{x+1} \right\}$$

$$= 0, \text{ (③と問題文より)}$$

... (答)

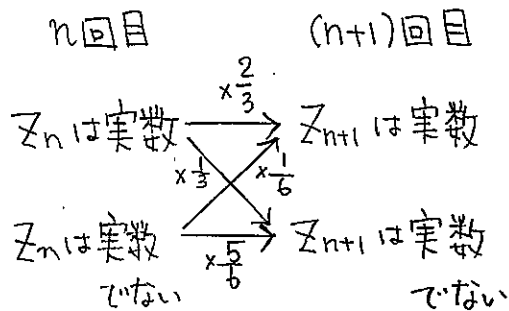
(3) (1)の表と(2), および $f(0) = 1$ より

$y = f(x)$ のグラフの概形は次図のようになる.



2

$X_k = 1, -1, 0$ となる確率は、
それぞれ $\frac{1}{6}, \frac{1}{6}, \frac{2}{3}$ である。
また、 $\arg Z_n = \frac{\pi}{3} (X_1 + X_2 + \dots + X_n)$
であるから、 Z_n が実数であることと
 $X_1 + X_2 + \dots + X_n$ が3の倍数で
あることは同値である。
したがって、下の遷移図を得る。



(1) Z_1 が実数である確率は $\frac{2}{3}$ 、
 Z_1 が実数でない確率は $\frac{1}{3}$ で
あるから、遷移図より求める確率は、
 $\frac{2}{3} \times \frac{1}{3} + \frac{1}{3} \times \frac{5}{6} = \frac{1}{2}$... (答)

(2) 遷移図より、求める確率は、

$$\begin{aligned}
 & (\text{Z}_1 \text{ が実数でない確率}) \cdot \left(\frac{5}{6}\right)^{n-1} \\
 &= \frac{1}{3} \cdot \left(\frac{5}{6}\right)^{n-1} \quad \dots (\text{答}) \\
 & \quad (n=1 \text{ のときも成立})
 \end{aligned}$$

(3) $P_1 = (Z_1 \text{ が実数である確率}) = \frac{2}{3}$ 。

遷移図より、

$$\begin{aligned}
 P_{n+1} &= \frac{2}{3}P_n + \frac{1}{6}(1-P_n) \\
 &= \frac{1}{2}P_n + \frac{1}{6}.
 \end{aligned}$$

これより、

$$P_{n+1} - \frac{1}{3} = \frac{1}{2} \left(P_n - \frac{1}{3} \right)$$

であるから、

$$\begin{aligned}
 P_n &= \left(\frac{1}{2}\right)^{n-1} \left(P_1 - \frac{1}{3}\right) + \frac{1}{3} \\
 &= \frac{1}{3} \cdot \left(\frac{1}{2}\right)^{n-1} + \frac{1}{3} \dots (\text{答}) \\
 & \quad (P_1 = \frac{2}{3} \text{ より})
 \end{aligned}$$

また、このとき、

$$\begin{aligned}
 \lim_{n \rightarrow \infty} P_n &= \lim_{n \rightarrow \infty} \left\{ \frac{1}{3} \cdot \left(\frac{1}{2}\right)^{n-1} + \frac{1}{3} \right\} \\
 &= \frac{1}{3} \dots (\text{答})
 \end{aligned}$$

3

三角形ABCの外接円の半径をRとすると、正弦定理から、

$$\frac{c}{\sin \angle ACB} = \frac{b}{\sin \angle ABC} = 2R$$

が成り立つ。 $\angle ABC = B$ とおくと、

$\angle ACB = n \angle ABC$ のとき、

$$c = 2R \sin(nB), b = 2R \sin B$$

このとき、

$$nb - c = 2R \{ n \sin B - \sin(nB) \}$$

が成り立つこと、 $c < nb$ を示すには、

$$n \sin B - \sin(nB) > 0 \dots\dots (*)$$

が成り立つことを示せばよい。

ここで、三角形ABCの内角の和が π であることから、

$$\angle ABC + \angle ACB = \pi - \angle BAC < \pi$$

$$B + nB < \pi$$

$$(0 <) B < \frac{\pi}{n+1}$$

また、 x 関数 $f(x)$ を

$$f(x) = n \sin x - \sin(nx)$$

と定めると、

$$f'(x) = n \cos x - n \cos(nx)$$

$$= n \{ \cos x - \cos(nx) \}$$

となる。

すると、 $0 < x < \frac{\pi}{n+1}$ のとき、

$$0 < x < nx < \pi$$

であるから、

$$\cos x > \cos(nx)$$

が成り立つ。

これより、 $0 < x < \frac{\pi}{n+1}$ において、

つねに $f'(x) > 0$ である。

よって、 $0 \leq x \leq \frac{\pi}{n+1}$ において、

$f(x)$ は単調に増加する。

したがって、

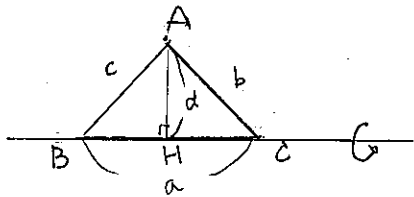
$$f(B) > f(0) = 0$$

つまり、(*) が成り立つことが示され、証明が完了する。

(証明終)

5

- (i) $AB = c$ とする. 点 A から直線 BC に下ろした垂線の足を H とし, $AH = d$ とする.
 (ii) H が線分 BC 上にあるとき

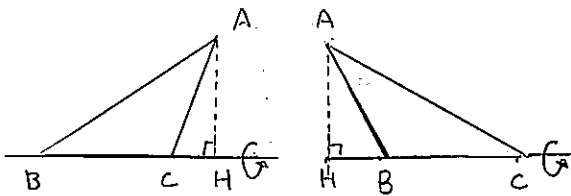


$$V = \frac{1}{3} \pi d^2 \cdot BH + \frac{1}{3} \pi d^2 \cdot HC$$

$$= \frac{1}{3} \pi d^2 (BH + HC)$$

$$= \frac{1}{3} \pi a d^2$$

- (ii) H が線分 BC 上にないとき



$$V = \frac{1}{3} \pi d^2 |BH - CH|$$

$$= \frac{1}{3} \pi a d^2$$

- (i), (ii) のいずれの場合も

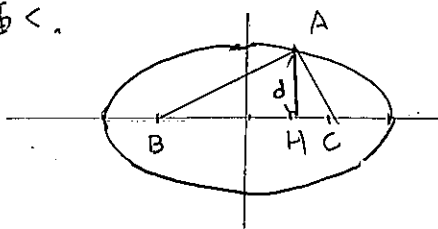
$$V = \frac{1}{3} \pi a d^2 \quad \dots \textcircled{1}$$

よって, d が最大となるのは $b = c$ のときであることを示せばよい.

a を固定して,

$$AB + AC = 2 - a \quad (\text{一定})$$

であり, 点 A は B, C を焦点とし長軸の長さが $2 - a$ の楕円を描く.



d が最大となるのは A が短軸の端点の場合である. このとき H は線分 BC の中点であり, $b = c$ である. よって V が最大となるのは三角形 ABC が辺 BC を底とする二等辺三角形となるときである. (証明終り)

- (2) (i) より $b = c$ のときを考慮すれば十分である. 三角形の成立条件より
- $$|b - c| < a < b + c$$

$$b = c, \quad b + c = 2 - a \text{ より}$$

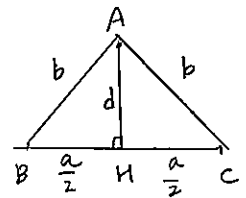
$$0 < a < 1, \quad b = 1 - \frac{a}{2}$$

このとき

$$d^2 = b^2 - \left(\frac{a}{2}\right)^2$$

$$= \left(1 - \frac{a}{2}\right)^2 - \frac{a^2}{4}$$

$$= 1 - a$$



① より

$$V = \frac{\pi}{3} a (1 - a)$$

$$= \frac{\pi}{3} \left\{ -\left(a - \frac{1}{2}\right)^2 + \frac{1}{4} \right\}$$

$(0 < a < 1)$

よって

$$V \text{ の最大値は } \frac{\pi}{12}$$

$$\text{このとき } a = \frac{1}{2}, \quad b = \frac{3}{4} \quad \dots \textcircled{\text{答}}$$